

# 淡路人形浄瑠璃

## 特別公演

人形浄瑠璃街道推進事業



# 淡路人形座が魅せる 仇討ちの物語

**出演団体** (公財)淡路人形協会 淡路人形座

**公演演目** 戒舞  
えびすまい

仮名手本忠臣蔵 五段目 二つ玉の段、七段目 祇園一力茶屋の段  
かなでほんちゅうしんくら ごだんめ ふた だま だん しちだんめ ぎおんいちりきぢやや だん

2023

1/21

土

13:30

開演 (13:00 開場) 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

S席 3,000円 A席 2,500円 B席 1,500円(全席指定・税込)

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ(連絡デッキで直結) / JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

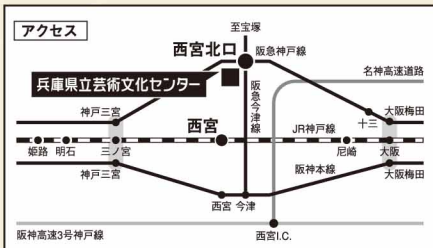
発売日  
2022  
11/12 土

チケット予約  
芸術文化センターチケットオフィス [10:00-17:00 月曜日休み※祝日の場合翌日]  
電話 0798-68-0255 インターネット <https://www.gcenter-hyogo.jp>  
直接購入:芸術文化センター2階総合カウンター[2022年11月13日(日)より、残席がある場合のみ]

※チケットのご購入はお一人様2枚までとさせていただきます。  
※入場者数を制限して販売する場合があります。  
※未就学児童はご入場いただけません。  
※2階席は人形浄瑠璃の舞台構造上、舟底部分が見える場合がございます。

**【チケットをご購入のお客様へのお願い】** 新型コロナウイルス感染予防対策にご理解とご協力をお願いいたします。

- ※37.5度以上の発熱が認められた場合は、入場をお断りさせていただきます。発熱等の風邪症状がある場合は、ご来場をご遠慮ください。
- ※芸術文化センターでのご購入時には、来場者情報把握のため、先行予約会員(無料)へのご登録をお願いしております。なお、お一人様2枚までとさせていただきます。
- ※来場者情報を把握するため、ご購入者以外のお客様が来場される場合は、来場時にご連絡先(チケット右側半券部分に氏名、ふりがな、電話番号)をご記入いただけます。
- ※マスクを着用されていない方はご入場いただけません。(マウスシールド不可)
- ※感染の再拡大等、状況によっては公演の中止や出演者・演目等が変更となる場合があります。予めご了承ください。
- ※最新の情報につきましては、芸術文化センターウェブサイト、メールマガジン、公式Twitterなどをご確認いただきますようお願いいたします。



※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

主催:淡路人形浄瑠璃特別公演実行委員会、兵庫県、兵庫県立芸術文化センター  
共催:人形浄瑠璃街道連絡協議会 後援:関西広域連合、洲本市、南あわじ市、淡路市

ご来場前にウェブサイト掲載の(当センターをご利用のお客様へ)をご確認ください。



兵庫県立 芸術文化センター



人形浄瑠璃は、太夫・三味線弾き・人形遣いの三つの技芸が結びついて誕生し、江戸時代以降、歌舞伎と人気を競い合った伝統演劇です。

淡路島には、全盛期40余りの人形座があり、全国を巡業したことから、各地に人形浄瑠璃を根付かせています。戦後、淡路人形浄瑠璃は衰退の一途をたどりましたが、関係者の尽力により「淡路人形座」が設立され、昭和51年には国の重要無形民俗文化財の指定を受けるとともに、今日まで淡路島の伝統芸能として傳承されております。

本公演では、一方的な罰を受けた浅野家の元家臣たちが主君の仇を討つため吉良邸に討ち入る赤穂事件を題材とした『仮名手本忠臣蔵』を上演します。昭和初期まで傳承され平成23年に復活させた三役早替りの演出など、淡路人形座が受け継ぐ舞台芸術をお楽しみください。

## 【演目あらすじ】

### 戒舞【えびすまい】

戒さまが、釣竿をかついでやってきました。庄屋さんはお神酒を出します。盃を飲み干した戒さまは、自分の生まれや福の神であることを話しながら舞い始めます。海の幸、山の幸を前に、みんなの願いをかなえようと、お神酒を飲み、幸せを運んできます。酔った戒さまは、船に乗り、沖に出て、大きな鯛を釣り、メダシ、メダシと舞い納めるのでした。太鼓のリズムに合わせ、戒さまが楽しく舞うこの戒舞には、おおらかな心を持ち、えびす顔でプラス思考に生きるという幸せの原点がこめられています。



### 仮名手本忠臣蔵 五段目 二つ玉の段、七段目 祇園一力茶屋の段

【かなでほんちゆうしんぐら ごだんめ ふたつたまの段、しちだんめ ぎおんいちりきぢゃやの段】



山賊の斧定九郎は大金を持ったお軽の父与市兵衛を殺して金を奪うが、手負いの猪を追い打ちする鉄砲の二つ玉に撃ち抜かれて絶命します。撃ったのはお軽の夫勘平で、猪ではなく人だと気づいて驚きますが、仇討ちの御用金を求めていたので、「天の与え」と財布を手を駆けて行くのでした。



祇園一力茶屋では遊蕩する由良之助が顔世御前（塩冶判官の妻）の密書を読み始め、それを見た遊女のお軽が二階から手鏡で覗き見ます。縁の下では、寝返った斧九太夫（元塩冶家家老）が垂れ下がる密書を盗み読みます。気づいた由良之助はお軽に突然身請け話を持ちかけます。由良之助と入れ違いに来たお軽の兄平右衛門は、由良之助がお軽を殺すつもりであると察し、このうえは、大事を知った妹を討った功で自分を仇討ちの連判に加えさせてくれと頼み、お軽も覚悟を決めます。そこに由良之助が現れ、敵と味方を欺くための放蕩だという本心をあらわし、平右衛門の連判を許します。更にお軽に手を添えて縁の下の九太夫を刺し殺させ、それを夫勘平の功とするのでした。

## 【(公財)淡路人形協会 淡路人形座】

淡路島において淡路人形浄瑠璃の定期公演を行うほかコラボ公演など特別公演も企画しております。淡路人形座へ是非お越しください。

開演時間：10:00～、11:10～、13:30～、15:00～

所要時間：約45分

休館日：毎週水曜日

(祝日の場合は翌日休館、年末休館等もあり)

住所：兵庫県南あわじ市福良甲1528-1地先

電話番号：0799-52-0260



淡路島には世界遺産を目指す「鳴門海峡の渦潮」をはじめ、たくさんの観光資源があります。古事記の神話で、日本で最初に造られたとされる「日本のはじまり淡路島」へ是非お越しください。

